

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ協議会
 代表者名 会長 梶山 一 實



記

事業の名称	事務所運営推進事業
事業実施前の状況	協議会内の各部会と部会内部等の密接な連携を図ることができなかつたため、連絡等が漏れ伝わることもあり不手際が目立ったことがあった。
事業実施後の状況	事務所を開設していただいたため、上記に関する事務処理及び連絡等々がスムーズに実施されるようになりました。(主に電話、FAX、メール等々またはホームページによる活動状況等にも大いに利用されている) 事務員の配置により特に小さな絵本館との連絡も密になって喜ばれている。
事業の効果	小さな絵本館をホームページに転載したおかげで、パートによる読み聞かせ人員の募集にも大いに貢献したりして重宝しております。コミュニティおよび各自治会による行事もHPに掲載しているので、自治会の方々にも利用されているようです。
今後の課題等	今後、将来に向け、少しでも活動できる人材を確保するのに苦慮している状況は、各校区にも言えることであるが、各校区とも連携をさらに深めることが要でもあると思われます。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 梶山一寛



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	池田地域コミュニティ推進協議会の活動内容や、地域の身近なニュースなどを地域住民にPRするため、平成20年度から継続事業としてコミュニティ紙（「コミュニティ通信・いけだ」A3版）を年3回全戸配付する。
事業実施後の状況	地域の全世帯（6,800部）だけでなく公共施設（200部）をも対象に加え、1回当たり計7,000部に増刷し、8月1日（第15号）、12月1日（第16号）、平成25年4月1日（第17号）の計3回、全冊カラー版として発行し、池田市広報誌に織り込んだ。
事業の効果	平成24年度の記事掲載からは、より市民目線に近づけることを重視し、ニュース、ソースを集めた。更に目に留めやすくするという意図で、全冊カラー版を発行している。 第15号では「がんがら火特集」を、第16号では校区内でコミュニティ活動を行う「学生特集」を、第17号では装い新たになった「池田小学校校舎・阪急池田文庫側溝」の特集を組んだ。 又、双方向を重視する意図で、「町会・自治会便り」をとり入れたが大変好評を得ている。
今後の課題等	より多くの方々に関心をもたれるように、ニュースソース並びに紙面のさらなる刷新を含めて積極的に取り組んでいきたいと考えている。地域住民約6,800世帯から注目を浴びる紙面作りを目指したい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 梶山一寛



記

事業の名称	掲示板設置事業
事業実施前の状況	平成20年の事業計画時には、校区内に大小あわせ30箇所を計画し、その後平成20年度から平成23年度の4年間で、26箇所の設置を終え、ほぼ計画通りの進捗状況にある。
事業実施後の状況	平成24年度は取替え・移動・新設6箇所を計画し、計画通り設置を終えた。 綾羽2 五月山派出所上 栄本町 託明寺前栄本町公園入口 城山町 逸翁美術館北側 栄町 駅前てるてる広場西側 城南3 ザ・ライオンズマンション西側 城南 光明公園西側 以上6ヶ所に配置した。
事業の効果	新設や取替えで設置箇所が増えたこともあり、コミュニティ関係掲示物や公共広報掲示物が注目され、掲示板効果が評価されるようになった。池田地域コミュニティ推進協議会名が明示されていることもあり、当協議会の事業活動としても評価を受けている。
今後の課題等	平成20年度から始めたこの事業も、今年度で当初の計画通り32箇所総てに設置を終えたので、本事業は終了とする。 今後の課題として、破損等によるメンテナンス、リニューアルが必要とされるが、その対応が求められる事になる。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名

池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

梶山 一實



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業
事業実施前の状況	校区内18町会・自治会のうち8自主防災会（対象町会・自治会数は10）が組織化・設立され、6自主防災会への資機材配備が完了。
事業実施後の状況	1. 今年度新たに2自主防災会（槻木町・上2）に、1次資機材配備を行った。 2. 10自主防災会参加の合同防災訓練の実施
事業の効果	校区合同防災訓練の実施等に依り、未結成町会・自治会に好影響を及ぼし、新たに3自主防災会（綾羽町・新町・城山町）が立ち上げられた。
今後の課題等	1. 未設立町会、自治会にはそれぞれ事情があると考えられるので、設立への働き掛け、関与の度合いが難しい。 ・機運の盛上げ・単独での設立・既隣接組織との合併等に対して提案はすべきと思うが。 2. 全自主防災会の仲間うちの連絡会を立上げていただく。 ・次年度の合同防災訓練は、自主防災会主催での実施を目標とする。

平成25年5月3/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名

池田地域コミュニティ推進協議会
梶山 一寛



記

事業の名称	地域防犯推進事業
事業実施前の状況	校区内住民を対象に年1回公演会を実施したが、残念ながら参加者が非常に少なく所期の目的を達する事が出来なかった。
事業実施後の状況	<p>地域分散での実施を試みる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉総合センター（ザ・ライオンズ池田住民対象 協力：池田警察署） ・槻木町会館（槻木町住民対象 防災訓練に自転車安全運転資料提供） ・市立コミュニティセンター（綾羽1住民集会 自転車安全資料提供） ・市立コミュニティセンター〔交通(自転車)安全講演会実施 協力：池田警察署、池田交通安全協会、市交通総務課〕
事業の効果	<p>特に H24.3.2 実施（於：市立コミュニティセンター）した、交通(自転車)安全運転講習会には日曜日の午後(2:00~4:00)という時間設定が幸いしたのか小学生低学年~80才代までの各年代の方々、150名余の参加をみた。</p> <p>スライドを中心にした構成であったので全員がよく理解出来た。こども達（約20名）も事故の恐ろしさがよく分かり、怖かったとの感想もあった。</p>
今後の課題等	関係部署の勤務の状況から、住民が集まりやすい曜日・時間帯の関係（複数回）が難しい。よって分散開催は一考の要あり。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名

池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

会長 梶山一實



記

事業の名称	MTP フェスティバル
事業実施前の状況	開催のチラシ等の配布が学校関係でしか出来無かった為、校区全域に行き渡らなかったので地域の方々の参加が少なかった。
事業実施後の状況	校区全域に開催のチラシ配布が出来、フェスティバルを盛上げれる様になった。
事業の効果	フェスティバルの知名度が上がり、活動を応援して下さる方が増えた事で、このフェスティバルがMTPも地域との繋がりを大事にしている活動である事をアピール出来ました。
今後の課題等	規模を広げたり、派手にする事よりも地域の皆が楽しみに出来るふれあいの場であったり、池中の卒業生も集まってきて地域の方々との再会を懐かしめるような場になるよう、次世代にもつないで行けるような土台をしっかりと作らなければいけないかと思えます。また、コミュニティの事業提案を来年度の各学校の行事等が決まる前にしなくてはならない為、当初の思惑から変わる場合があるので、今後はフェスティバルに限定せずに活動を支援する事業提案にするのがベターではないかと考えられます。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名

池田地域コミュニティ推進協議会
梶山 一貴



記

事業の名称	福祉さくらまつり事業
事業実施前の状況	公園外を警備するガードマン費用の負担を市より求められましたが、参加団体・事業所の負担が多く、参加を躊躇する団体もありました。
事業実施後の状況	補助を受けることで、参加団体・事業所の負担が軽減されました。
事業の効果	障がい者団体・事業所、その他が五月山公園で、桜見物の地域住民や観光客へのイベント（模擬店・ステージ等）を行いました。 ・障がい者理解に対する啓発活動も兼ねて下記の障がい者関係団体は団体・施設紹介のパネル展示、チラシを配布しました。 ※参加団体・事業所（障がい者関係） 池田市身体障害者福祉会、池田市手をつなぐ親の会、池田市身体不自由児（者）父母の会、池田市精神障害者家族会てしま会、池田市立くすのき学園、東山作業所、アルパカ工房、池田三恵園・こすもす
今後の課題等	福祉さくらまつりは、天候・桜の開花に人出が左右される為、上記団体以外の出店参加を募ることは難しいです。池田市が主催していたときより規模を縮小していますが、地域の方々には恒例イベントと認識していただけてる為、今後も継続実施していけるよう努力いたします。

平成25年5月3 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名

池田地域コミュニティ推進協議会
梶山 一寛



記

事業の名称	「ちいさな絵本館」推進事業
事業実施前の状況	2階の改修工事も完了し、H22年9月開館以降初めて通年開館が出来る状態になった。
事業実施後の状況	1. 備品の配備・インターネット加入等、会館運営に必要最低限の設備は調べられた。 2. 蔵書増冊に予算配分をしてきたので、蔵書数は1944冊になった。 3. パソコン導入・インターネット加入で管理業務・事務連絡等が効率的になった。
事業の効果	※別紙にて
今後の課題等	1. 市内在住の方でも、絵本館を知らない人が多いので、周知に工夫が必要と考える。 2. 大人の方が一人でも気楽に利用してもらえる空間作りも考えなくてはいけないのかな？ 3. 小学校にあがると途端に絵本館から離れてしまう傾向が見られる。小学生向けの蔵書も数多くあるので、小学生と絵本館のつながりをもう少し強くしていける方法を考えていきたい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名

池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

梶山 一實



記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	池田市栄本町3-2 阪急バス停留所前側溝に東西16メートル幅0.35メートル深さ0.4メートルの開口部があり、学童の通学時・一般人の通行・バス乗降客に踏み外し転倒の危険性あり ●別添 側溝改修工事図 参照
事業実施後の状況	未執行 ・関係者の予解が得られなかった為 ・別添 話し合いの経緯 参照
事業の効果	
今後の課題等	池小地域懇談会で複数年にわたり通学路危険箇所として指定されていたが、解決をみないので、当協議会で取り上げましたが、民との接衝に於いて行政サイドのフォローが原則なしという状況下では、今後類似案件の協議会での取り扱いは慎重にならざるを得ない。

平成25年5月20日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ協議会
 代表者名 梶山 一 實



記

事業の名称	池田文庫東側道路整備工事
事業実施前の状況	生活住環境道路でありまた通学路であるなかで、一般車両・自家用車の往来が多くかつ対向車両もあり歩行者の妨げになっていた。 近隣住民の方もクレームが多々あり、自治会長および当協議会にもクレームが入っておりました。
事業実施後の状況	道路幅員が約20～30cm 拡幅できた関係で、歩行者および車両の往来がスムーズになった。 問題個所が改善されたことにより住民の方々の反応は良かったとのことですが、反対車線のほうも善後策を考えていただきたいとの思いがあります。
事業の効果	事業前住民が車両の往来で、側溝に足を踏み外し足を痛めたことがなくなり、また車両の落輪がなくなったことは大きな収穫であった。
今後の課題	反対車線の対応と、近隣住民および通行者の認識が一致した顕著な案件であったように思いますが、今後は地域コミュニティで賄える案件と行政サイドで取り扱う案件が吟味する必要があるように思われます。

以上

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名

池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

梶山 一實



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	町別対抗がなかったので盛り上がりがなかった
事業実施後の状況	町別対抗戦で、町会の力強い応援が各町でわき上がり、盛り上がった。特に「青竹はこび」「町別対抗リレー」「ブロック別対抗リレー」「年代別リレー」でした。 参加者 1,200名余
事業の効果	運動会を通じて、各町の方々のまじわり・スポーツの良さを知っていただいた。
今後の課題等	スポーツを通じて、人間同志の助け合い・日頃の運動不足を解消していただきたい。町会・子供会に入っていない人も参加出来る様なプログラムを考えていきたい。